

2012年9月18日(火)

報道関係者各位

日中出版人ダイアログ
「今、書籍でなにができるのか？」
～日中出版交流の現状と課題～

笹川平和財団 笹川日中友好基金（東京都港区、会長：羽生次郎）は、中国における日本の情報不足を解消し、日本への理解を深めるため、日中両国の専門家によって選出された現代日本を紹介する図書 100 冊を中国で翻訳・出版する「中国に伝えたい日本の 100 冊プロジェクト」(http://www.spf.org/sjcff/j/activity_pages/detail/162 参照)を展開しています。中国国内の出版社 7 社の協力を得て、これまでに 25 冊が中国語に翻訳され、中国全土で販売されました。

この度、日中間で書籍文化交流を試みる両国の出版関係者が一堂に会し、両国における翻訳・出版の現状と課題を検証します。またネット社会の中で、書籍が国際交流で担う役割や可能性について議論します。

日中関係が政治的に難しい局面に立つ今こそ、民間レベルでの理解促進に一層の力を注ぐことが重要です。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。（プログラムは別紙参照。）

日時：2012年9月26日(水) 15:00-17:50

場所：日本財団ビル 2F 大会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）

地図→ <http://www.spf.org/profile/access.html>

参加無料・要予約（日本語-中国語同時通訳つき）

共催：笹川日中友好基金・東京大学出版会

18:00 - 19:30 レセプション

お申込み：下記のウェブサイトよりお申込みください。

http://spf.org/sjcff/j/activity_pages/detail/163

お問合せ：笹川日中友好基金 玉腰

Tel. 03-6229-5461, Fax. 03-6229-5473

日中出版人ダイアログ
「今、書籍で何ができるのか？」
～日中出版交流の現状と課題～
(日本語-中国語同時通訳つき)

プログラム

15:00-15:05	開催経緯の説明 于 展 (笹川日中友好基金室長)
15:05-15:10	共催者代表の挨拶 黒田拓也 (東京大学出版会常務理事)
15:10-15:15	モデレーターによる主旨説明 竹中 英俊 (東京大学出版会常任顧問)
15:15-15:45	「中国における日本図書市場—歴史、現状と展望—」 謝 寿光 (社会科学文献出版社社長)
15:45-16:00	「日本図書の翻訳出版—三聯出版社の取り組み—」 叶 彤 (三聯書店編集者)
16:00-16:15	「大学出版社と日本の出版協力—南京大学出版社の場合」 田 雁 (南京大学出版社編集者)
16:15-16:30	コーヒーブレイク
16:30-16:45	「双方向の日中出版協力を目指して」 劉 岳 (講談社 (北京) 文化有限公司副社長)
16:45-17:00	「日中出版交流の現状と対策」 馬場 公彦 (岩波書店学術図書編集部副部長)
17:00-17:15	「“魯迅の言葉”をめぐる日中の交流」 下中 美都 (平凡社取締役)
17:15-17:50	質疑応答
17:50	閉会
レセプション	
18:00-19:30	レセプション 於：日本財団ビル2階会議室
18:00	開会挨拶 笹川 陽平 (笹川日中友好基金運営委員長) 歓談